

株式会社ジェイコム東京 港・新宿局 放送番組審議会 議事録

令和2年度（2020年度）株式会社ジェイコム東京港・新宿局 放送番組審議会は、
2021年3月22日（月）東京都港区芝公園2丁目6－3 芝公園フロントタワー2F ROOM Eで
開催された。

【放送番組審議会委員】

ご出席

須永 達雄 様(会長)

神田 隆弘 様

佐藤 伸弘 様

境 睦 様

佐藤 正晴 様

村上 京子 様

青木 康平 様

山中 秀樹 様

ご欠席

坂本 力 様

伊藤 節子 様

大崎 秀夫 様

事業者側から J:COM チャンネル（11ch）と J:COM テレビ（10ch）について報告があった。

【質疑応答・意見交換】 進行：須永会長

■番組内容について

委員

お昼12時は比較的多くの方がテレビを見ており、12時から5分でもいいから港区・新宿区
の本日の出来事等を紹介する番組ができないだろうか。

事業者

お昼12時放送については、J:COM エリア共通の番組を放送しており、現在編成が難しい。
今後に向けて、検討していきたい。

委員

番組制作方針として、地域スポーツの強化との事だが、具体的に何を強化するのか。
誰に何を伝えたいのか、具体的なターゲットがはっきりしない。どう考えているのか。

事業者

地域スポーツの強化について、地域スポーツ全体を盛り上げる観点から、これまで主に少年少女のスポーツ大会を応援する取り組みをしてきた。今後より明確にできるよう、工夫していきたい。

■コミュニティチャンネルのプロモーション強化について

委員

新聞を取らない人が多くなる中、コミュニティチャンネルで高齢者や子育て世代などに港区からの重要なお知らせが放送される事は大変素晴らしい事であるが、果たしてコミュニティチャンネルはどのボタンを押すとチャンネルが見られるなど、視聴可能な住民の皆さまに定期的なアナウンスや視聴させるための具体的な取り組みはされているのか。

事業者

コミュニティチャンネルに留まらず、「ど・ろーかるアプリ」での配信等努めております。有益な番組作りをしていると自負しているが、宣伝・PR不足であり、スタッフ全員でお客さまにPRしていく所存です。

現在 J:COM 有料サービス以外でも J:COM パーソナルID取得してもらい、定期的な情報発信するシステム構築の準備をしており、J:COM にご加入いただかなくても地域情報がわかる展開をしてみたいです。

■地域メディアの価値向上について

委員

社会福祉協議会の仕事をしているが、福祉やボランティア等募集しても中々なり手が少ない。文字放送等で地域ボランティアの募集情報を常時流す等、はできないだろうか。
またコロナ禍による自粛生活で、高齢の方の心身機能の低下が危惧されている。
高齢者の為のやさしい体操など、介護予防動画の繰り返しの放送やコロナ禍での商店街、町会・自治会の新たな取り組みを番組で放送し、横の広がりが出る様な役割ができるのではないか。今だからこそ必要な番組内容を入れてほしい。

港区コミュニティーバスでも港区広報番組が放送されており、J : COMが映像を制作し区が発信できる取組みは大変ありがたい。

事業者

高齢者向けやさしい体操番組など放送しており、今後ご要望に応じて柔軟に対応していきます。

■今後の期待について

委員

桜美林大学オンライン大学祭では、学生に制作のノウハウを提供したが、同様に、ライブ配信や動画編集のノウハウを提供していく事はできないか。

テレビを通じて情報収集している方も多く、新宿区や地域の取組みについて、番組「ジモト応援！つながる News」で積極的にPRしていただく事は大変ありがたい。

コロナ禍の新しい日常において、ライブ配信等映像技術を教えてもらう様な事ができないだろうか。

事業者

地域の皆さまに役立つ番組、地域の皆さまと一緒に育てていく番組作りにできるよう地域の皆さまのご意見を聞き、ご期待に応えていく所存です。